



“観音魂”

静岡県立観音山少年自然の家 所長 井浪 秀一

令和6年度は、メジャーリーグ大谷翔平選手の50-50達成など世界を沸かせる明るいニュースがあった一方で、各地で発生する自然災害などの暗いニュースも多かった。地球規模の温暖化はもはや「沸騰化」ともいわれ、昨夏の記録的猛暑をさらに上回り過去最高の平均気温を更新したニュースは記憶に残る。観音山では、「冒険王国」中に発令された「南海トラフ地震臨時情報」、台風10号の長雨により発生した土砂崩れ、クマの目撃情報、浴室ボイラーの故障、給水管の漏水など、多くの事態に直面した。次々に発生する予測困難な事態の対応に追われ「『災害は忘れた頃にやってくる』のではなく、『災害は次から次へとやってくる』という、かつての所長のいましめを身にしみて感じた一年であった。

一方で、度重なる苦難にも決して諦めない所員の姿を目の当たりにした一年でもあった。「棚田ロングハイク」や「ENJOY 沢登り」などの新たな活動を生み出しつつ、土砂崩れによって林道を塞いでいた大岩を人力で砕き、わずか2ヶ月程度で車輛が通行できるまでに林道を復旧させたり、天竜森林管理署の協力を得ながら、クマを誘引するとされる活動エリア内に自生するカキの木を次々と伐採したりした。

これがまさに、歴代所員から受け継ぐピンチをチャンスに変える『観音魂』であり、その源は、やはり子供たちの笑顔である。少子高齢化やネット社会の進出など、私たちを取り巻く環境が大きく変化している昨今、変わらないのは観音山の自然と利用者の輝く笑顔である。1973年（昭和48年）の開所から51年が経過し、延べ207万人を超える方々に利用いただいている「感動山」で、所員一同、これからも多くの笑顔やドラマに出会えることを楽しみにしている。

静岡県立観音山少年自然の家

〒431-2201 静岡県浜松市浜名区引佐町東久留女木字観音山

TEL(053)545-0111 FAX(053)545-0363

URL:<https://www.pref.shizuoka.jp/kodomokyoiku/shogaigakushu/kannonyama/index.html>

主催イベントの様子

冒険王国 in 観音山 感動をつくろう ～ We can do it! ～

令和6年8月7日(水)～9日(金)



「感動をつくろう ～ We can do it! ～」をテーマに2泊3日で実施しました。子供たちは、豊かな自然の中で、ロングハイクや野外炊事など、多くの貴重な経験をしました。また、友達やキャンプカウンセラーとの関わりを通して、心を大きく、豊かに成長させることができました。

アドベンチャーキャンプ 当たり前毎日にありがとう ～飛び立て三九鳥～

令和6年11月23日(土)～24日(日)



山の活動・夜の活動・丘の活動の3つの冒険に、仲間と共に笑顔で取り組みました。活動を通して、自分の周りにある「当たり前」を見直し、自然や光、友達へ感謝する気持ちを育むことができました。

もりもりキャンプ 観音山でTry!Try!!Try!!!

令和7年2月22日(土)～23日(日)・3月1日(土)～2日(日)



小学校1～3年生を対象に1泊2日のキャンプを行いました。山や丘での活動に、前向きに挑戦する子供たちの姿がたくさん見られました。笑顔があふれる2日間となりました。

ファミリーイベントの様子



「ファミリーデー」や「わくわくホリデー」では、クリスマスリースや門松作りなど、自然物を用いた物作りを行いました。また、火起こしや飯ごう炊さんをしたり、ファミリーでハイキングを楽しんだりしました。観音山ならではの体験を通して、家族の絆をさらに深めていただきました。

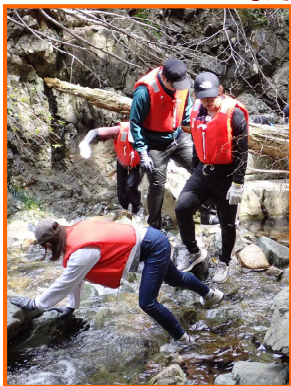


「観音山ハイキング」や「ぷらっと観音」では、普段、学校団体が利用することの多い「山頂コース」や「森林浴コース」、「しりとりハイクコース」だけでなく、桜並木が美しい「大草原コース」や、久留女木の棚田を見学する「たな田冒険コース」など、様々なコースを設けて実施しました。

参加者は、声を掛け合いながら、自分たちでセレクトしたコースを歩き、清々しい汗をかきました。

青少年野外教育スタッフ養成事業

リーダースクールin観音山



アウトドア教室



「リーダースクールin 観音山」では、参加した高校生・大学生が、時には失敗もしながら、子供たちに積極的に関わろうと頑張りました。「アウトドア教室」では、中高生が指導者としての視点を持ち、野外活動の知識や技能を学びました。どちらの研修でも、未来のリーダーが育っているのを感じました。

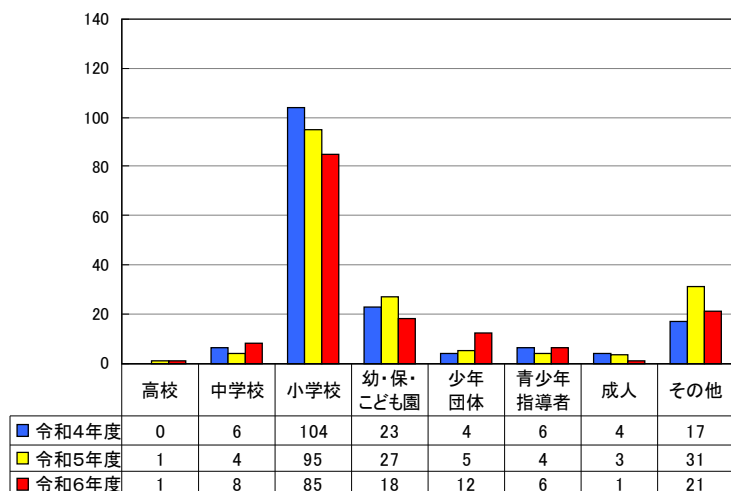
令和6年度の利用状況

静岡県立観音山少年自然の家

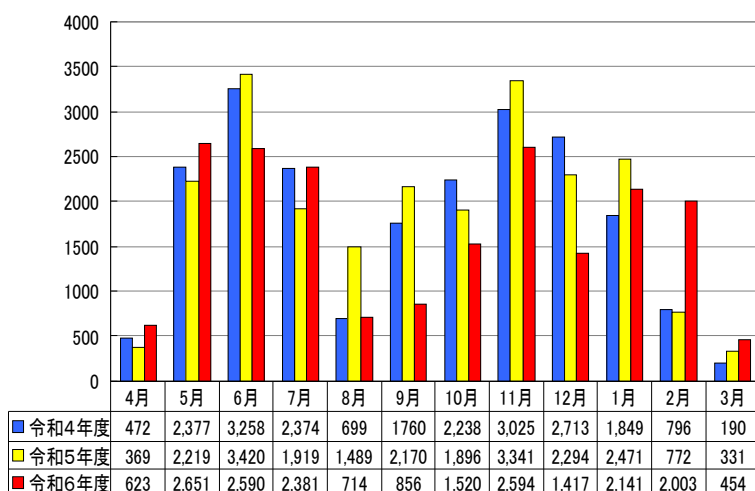
年間延利用者数

4年度 21,751人
5年度 22,691人
6年度 19,944人

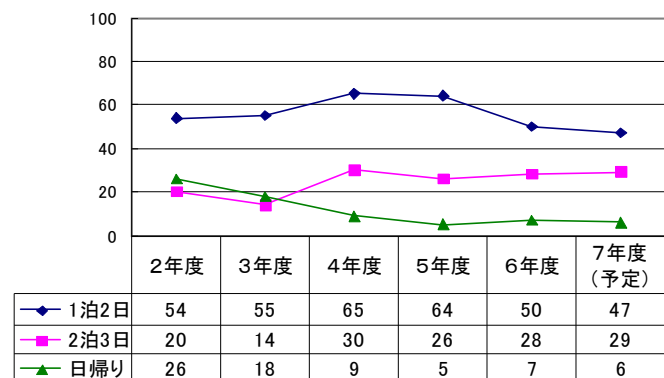
利用団体数



月別延利用者数



小学校の宿泊日数



令和6年度は、「クマ目撃情報」や「台風の長雨に伴う落石」などがあり、利用者の皆様に御迷惑や御心配をお掛けしました。そのため、利用者数は目標としていた2万4千人に到達することができませんでした。来年度も引き続き、利用者の安全・安心を第一に考えて、所を運営して参ります。

小学校については入所団体の約6割が1泊2日での利用となっていますが、本所では、たっぷりと自然体験活動を行い、子供たちの心をたくましく成長させるために2泊3日での活動をお勧めします。

活動プログラム

困難克服型プログラム



沢登り

山頂登山

冒険ラリーなど

集団協力型プログラム



キャンプファイヤー

OLビンゴ



キャンドルのつどい、コマ地図ラリーなど

○「困難克服型プログラム」「集団協力型プログラム」

観音山少年自然の家では、活動プログラムを「たくさん歩いて、粘り強く困難を克服するプログラム」(困難克服型)と「集団(グループ)で協力して、話し合いながら課題を解決するプログラム」(集団協力型)に分類しています。これは各入所団体のめあてや子供たちの実態に沿ったプログラムを提案することを目的としています。今後のプログラム決定の際の参考にしてください。